令和７年３月２４日
小田原市立下中幼稚園
担任　藤原　園加

梅の花が散り、桜の時期が近づいてきました。

早いもので、いよいよ明日、第３学期終業式を迎えます。４月に入園してから、子どもたちの成長がたくさん見られた一年でした。『できるようになったこと』『お兄さんお姉さんになったこと』がたくさんあることを自分自身で実感し、自信をもって来年度を迎えてほしいと思います。

## 幼稚園って楽しい！！

４月に入園したばかりの頃は、やりたい遊びや楽しいことを見つけるのに時間がかかったり、遊んでいても、すぐに飽きてしまったりしていたさくら組。担任として『幼稚園でいろいろなことを経験していく中で、幼稚園で遊ぶ楽しさを知ったり、じっくりと遊んだりしてほしい』という思いをもちながら、子どもたちの興味関心を探りつつ、いろいろな遊びを提案してきました。

そんなさくら組の成長の大きなきっかけとなったのは、第２学期に遊んだ『射的』と『くみくみスロープ』でした。的を狙って鉄砲で撃つ楽しさや、転がっていくビー玉の予測がつかない動きに面白さを感じ、夢中になって繰り返し遊ぶようになりました。また『ちょっぴり苦手』という思いから、なんとなく避けやすかった製作にも『恐竜の的をつくりたい』『ドラゴンをつくりたい』『新しいコースをつくりたい』などの思いや目的をもつことで、進んで取り組むようにもなりました。

その経験が、第３学期の遊びへとつながり、温泉ごっこ、キャットナップのお家づくりを継続して進めていく姿が見られました。

遊びを進める中で、明確な目的をもち、それを形にするために考えることで『考えたり工夫したりする力』が育ちました。目的を達成するために毎日コツコツと取り組むことで『継続して取り組む力』が育ちました。そして、時にはケンカをしながらも、友達と一緒に遊びを進めていくことで『友達と相談したり協力したりする力』が育ちました。そして何よりも、様々な経験を通して、いろいろな面で一人一人に自信がついたことを感じます。遊びを通して、たくさんの力が育まれていることを振り返ると、子どもたちにとって『遊びは学び』そのものであることを感じます。

今年一年で、幼稚園で遊ぶ楽しさを十分に味わうことができたさくら組。その経験を生かし、年長組になってからもいろいろな遊びを生み出し、自分たちで遊びを進めていって欲しいと願っています。

## つき組さん、ありがとう

卒園式が近づく中で「つき組さん、もうすぐ卒園だね」「つき組さんに、どんなことをしてもらって嬉しかった？」という話をすると「優しくしてくれたこと」「一緒に遊んだこと」などと教えてくれたさくら組。そこで、卒園式で「つき組さん、卒園おめでとうございます。いっぱい優しくしてくれて、ありがとうございました」という言葉にして「おめでとう」や「ありがとう」の気持ちを伝えることにしました。

卒園式当日は、いつもと違う雰囲気の中緊張しながらも、大きな声でつき組さんに気持ちを伝えることができました。立派に頑張るさくら組の姿を見て、成長を感じるとともに、今後の姿にも期待をもつことができました。

## さくらさん　優しいお兄さん、お姉さんになってね

卒園式の『お別れの言葉』で、つき組からさくら組へと贈られた言葉です。

思い返せば、お家の人と離れることへの不安や、初めてだらけの幼稚園への不安や緊張などから、涙涙のスタートを切った子も多くいた４月。不安でいっぱいな様子のさくら組に、戸惑いつつも、優しく声をかけてくれたのはつき組さんでした。朝の支度を一緒に進めてくれたり、教えてくれたり「一緒に行こう」「一緒にやろう」と声をかけてくれたりしたことで、さくら組も安心して登園できるようになったり『やってみよう』という気持ちが育まれたりしたのではないかと思っています。

つき組さんにいろいろなことを教えてもらい、たくさん助けてもらいながら１年間を過ごしてきたさくら組。４月からは、いよいよ『お兄さん』『お姉さん』として、今までしてもらってきたことを、新しいさくら組さんに返していく番です。

初めのうちは戸惑うこともあるかもしれませんが、今年度蓄えたパワーを十分に発揮しながら、優しいお兄さん、お姉さんになれるよう、友達と相談したり、力を合わせたりしながら、共に成長していってほしいと願っています。

保護者の皆様も、１年間ご理解、ご協力本当にありがとうございました。